

今年も良い年になりますように

12/31

年越しイベント「温故知新」

12月31日（土）から1月1日（日）にかけて、年越しイベント「温故知新」（同実行委員会主催）が沼田神社境内、五ヶ山牧場で開催されました。

北海道神宮からの「御神火」を3名の有志（英語指導助手：ディビットさん・役場：大島さん、押切さん）が前日から歩き通して、みんなで仲良くという願いが込められた五ヶ山牧場の火文字「仲」を灯すため約108kmを歩き続け届けられました。

沼田神社の特設会場では来場者に温かい飲み物が振舞われるなど、今回で20回目の開催となった同イベントは、多くの来場者で賑わいました。



▲左からディビットさん、大島さん、押切さん

火災のない町を目指して

沼田消防出初式

1/10

1月10日（火）ふれあい前の駐車場において、平成29年深川地区消防組合沼田消防出初式が行われました。

式典の中で、大原団長が「昨年、沼田町では3件の火災があったが、町民の助けで被害を最小限に抑えることが出来た。これも町民の防火意識の高さの賜物」と挨拶。金平町長は「消防団の方には日頃より献身的にご尽力をいただいていることに感謝申し上げます。今年は災害の無い一年になるように祈っています。」と団員を激励しました。

その後、本通で分列行進を行い、場所を町民会館に移し、北海道知事表彰など職団員に対する伝達が行われました。



冬でも元気いっぱい！

子ども交流ひろば・エンジョイ交流フェスタの合同事業が開催されました

1/13



1月13日（金）教育委員会の第4回「子ども交流ひろば」と一般社団法人N-link.主催で「エンジョイ交流フェスタ」の合同事業が開催され、認定こども園児から小学6年生までの45名が参加しました。

内容は「デコ傘づくり」「紙袋ランタンづくり」のほか、チーム対抗でのしっぽとりや玉入れ、デカパンリレーなどスポーツレクを行いました。

参加した子どもたちは、冬の寒さを吹き飛ばすような元気いっぱい楽しい時間を過ごしました。

ボ 沼田小学校にて
ランティアに協力していただきました

1/
17

1月17日（火） 有限会社松尾住設が、小学校校庭に雪山を作るボランティアを行いました。

2日間にわたって製作された雪山は、休み時間にそりで遊んだり、低学年の子どもたちのスキー練習に使用させていただきます。



陸 国内トップレベルの選手から学ぶ
上の北風沙織さんによる実演・講習会

1/
19

1月19日（木） 一般社団法人 N-link. 主催により北海道ハイテクアスリートクラブに所属し、400メートルリレーの日本記録を持つ、北風沙織さんをお招きし、短距離走の実演・講習会が行われました。

少年団や運動部に所属する小・中学生など多くの子ども達が参加し、ボールなど道具を使ったり、北風さんの実演による指導で、楽しく学びました。

北風さんは「色々な動きをすることで足は速くなります。みんなと走れて楽しかったです。」と話され、参加者は普段は間近で見ることのできない国内トップレベルの走りに目を輝かせていました。



また同日、北風さんを講師に、「食と運動のヘルスアップセミナー（オトナのサークル）」が実施されました。

この事業は昨年の7月から月に1回の活動で継続的に行っており、青年層が食事や運動に関心を持つことを目的に、食べ物や運動をテーマに参加者に体験してもらうセミナーです。今回は運動をメインテーマに「アスリートに学ぶダッシュ体験！」を実施し、走ることを中心としたプログラムを行いました。アスリートが普段行っているトレーニングやヒップアップに効果のある動きを実践し、参加者は楽しく身体を動かし汗を流していました。

加工用トマト講習会

トマトの奥深さを再確認

1月26日（木）、27日（金）コーミ株式会社（川澄正美代表取締役）の牧戸常務、村尾課長をお招きし、加工用トマト講習会が行われました。

26日はケチャップ作りとそのケチャップを使った料理講習が行われ、沼田町トマト生産組合、JA女性部の方が参加しました。参加された方からは、「普段ケチャップから作ることがないのでおもしろかった。」「すごくおいしかった。家でも作りたい。」と感想が述べられました。



27日の加工用トマト講習会ではJA北いぶき女性部の方が参加し、牧戸常務より、トマトの歴史や国産加工用トマトの現状などを学び、加工用トマトに対する理解を深められました。



JA北いぶき女性部沼田支部がタオルを寄付

大切にに使わせていただきます

2月2日（木）JA北いぶき女性部沼田支部（渡邊美佐恵支部長）の役員5名が、町にタオルの寄付と新役員の挨拶のため町長室を訪れました。

タオルは、毎年寄付をいただいているもので今回も約100枚のタオルを寄付いただきました。

受け取った金平町長は「いつもありがとうございます。大切にに使わせていただきます。」とお礼を述べていました。

タオルは、和風園や旭寿園などの施設で使わせていただきます。



旭町高齢者住宅にて

沼

田技能協会が除雪ボランティアを行いました

2 / 9



2月9日（木）沼田技能協会（会長 関根 徳昭）に、地域に貢献する奉仕活動として、旭町の高齢者住宅の屋根雪下ろしの、除雪ボランティアを実施していただきました。

当日は18名の会員が、重機とスコップを使い作業を行いました。住宅に入居している方は「この歳になると屋根には上れないので本当に助かります。」と、温かい缶コーヒーを振舞うなど感謝していました。

優勝目指して

高

穂スキー場まつりが開催されました

2 / 11

2月11日（土）沼田町体育協会（高田勲会長）が主催する「第18回高穂スキー場まつり」が開催されました。

この日はスキー大会の開催や無料レッスンが行われたほか、リフトが無料開放され、親子連れのスキーヤーやスノーボード、そり遊びを楽しむ来場者で賑わい、ちびっ子向け企画の「尻滑り大会」なども盛り上がりを見せていました。

また、昼食にはアツアツの豚汁が来場者に振る舞われ、たっぷりに入った具を来場者たちは美味しそうに頬張っていました。



表 彰

沼田・北竜地区暴力追放運動推進協議会に感謝状

1月17日（火）沼田・北竜地区暴力追放運動推進協議会（吉住淳男会長）が長年にわたり暴力追放活動を実践し、暴力団等にかかる犯罪等の防止に尽力されていることに対し、沼田警察署から感謝状の贈呈を受けました。

同協議会は沼田町における一大イベントである「夜高あんどん祭り」等において、露店からの暴力団の締め出しや年末における自発的な広報啓発活動等を行っております。

また平成28年「夜高あんどん祭り」では、私有地に露店を出店していた暴力団関係者を把握して排除した実績もあり、地域住民の暴力排除意識の高揚に努め、暴力のない安全で安心な地域社会づくりに成果を上げています。



沼田町農業研究会 梶田浩孝さん（北竜2）

北海道青年農業者会議

プロジェクト発表 土地利用型作物部門で 最優秀賞を受賞

1月25日（水）・26日（木）札幌市で開催された北海道青年農業者会議において、沼田町農業研究会の梶田浩孝さんが発表した、「省力化を目的とした水稻疎植（株間2倍）栽培の検討、評価…導入へ」と題したプロジェクト発表が、土地利用型作物部門の最優秀賞を受賞しました。

この北海道青年農業者会議は昭和27年から開催され今年で66回目となり、長い歴史がある会議です。これまでも沼田町農業研究会が発表し、幾度も受賞をされていますが、平成以降での、最優秀賞受賞は初めての快挙です。

梶田さんは、本町農業の課題でもある一戸あたりの水稻作付け面積が増加傾向の中で、省力化技術の必要性が高くなっていることに着目し、持ち前の研究心で自己の水田の土質等、正確なデータを把握し2年間の検証試験結果を精査することにより、疎植栽培により品質には大きな差はないが、春の育苗、田植え作業時の労力の省力化が可能となることを発表しました。

この発表が評価され、最優秀賞を受賞し、2月28日（火）から東京で開催される第56回全国青年農業者会議に出席し、北海道代表として発表されます。

梶田さんは「町内の農業者の方々や、JA北いぶき・普及センターの方々とも協力して研究した

成果が認められ最高の賞をいただきました。この研究結果を実践して、本町農業の省力化の基となれば嬉しいです。全国大会でも上位入賞を目指します。」と意気込みを話されていました。



▲左から農業研究会々長の澤田さん、発表者の梶田さん、補助者の山岡さん